



阿蘇草原再生募金へは様々なかたちでのご支援が可能です。

また募金以外にも、阿蘇産の農産物の購買や野焼き支援ボランティアとして輪地切りや野焼きに参加することも草原の保全につながります。一緒に、できることからはじめてみませんか？

### お振込みで

<口座名義> 阿蘇草原再生募金事務局  
阿蘇グリーンストック

- 肥後銀行  
内牧支店 普通 (口座番号) 1316172
- 熊本銀行  
阿蘇支店 普通 (口座番号) 3008481
- 熊本第一信用金庫  
大津支店 普通 (口座番号) 0094459
- 西日本シティ銀行  
熊本営業部 普通 (口座番号) 3019175
- 福岡銀行  
熊本営業部 普通 (口座番号) 1475918
- 阿蘇農業協同組合 (JA)  
阿蘇町中央支所 (口座番号) 0101758
- ゆうちょ銀行 (郵便局)  
(口座番号) 01750-1-122196

### 協賛商品のご利用を通じて



<阿蘇千年の草原WAON>

- ・1枚300円 (本体価格)
- ・イオン各店や提携店でチャージして利用
- ・利用高の0.1%をイオン九州より寄付



<阿蘇草原とくまモンQUOカード>

- ・ケース付き530円 (利用可能額500円)
- ・1枚当たり2円をQuoカードより寄付



<阿蘇草原再生定期預金>

- ・熊本第一信用金庫で取扱い
- ・店頭金利の2倍！
- ・預金総額に応じて信用金庫より寄付



<募金協賛型自販機>

阿蘇地域および大津町において、計10台の協賛自販機が稼働中。売り上げの一部が募金へ寄付される仕組みです。

協賛自販機の設置にもご協力ください！



<その他のロゴマーク協賛商品>

ロゴマークが付いた商品を購入すると、収益の一部が草原再生募金へ寄付されます。現在、草原ハチミツやトレッキングマップなどが販売中です。

### 募金箱で

阿蘇地域内の公共施設や飲食店などの店舗・宿泊施設を中心に、現在149個の募金箱を設置。黄色いステッカーと緑の草原、草原再生ロゴマークが目印です。



### ネット募金で

Yahooネット募金で寄付ができます。Tポイントも使えます。



### <野焼き支援ボランティアに参加するには…>

毎年開催される『野焼き支援ボランティア初心者研修会』で活動内容や安全管理について学んだうえで、ボランティア登録をしていただきます。初心者研修会の開催予定は、決まり次第以下のHPに掲載されます。研修会へのお申込みも同HPでできます。

【阿蘇グリーンストックHP】  
<http://www.asogreenstock.com/>

### <お問合せ>

阿蘇草原再生募金事務局  
☎0967-32-3500 FAX同-32-3355  
〒869-2307 阿蘇市小里656  
(阿蘇グリーンストック内)

【阿蘇草原再生協議会HP】  
<https://www.aso-sougen.com/kyougikai/>  
※募金の情報も掲載しています

### <ごあいさつ> 阿蘇草原再生協議会 会長 高橋 佳孝



阿蘇草原再生協議会では、2010年より「阿蘇草原再生募金」を設立し、集まった募金を活用して協議会構成員が取り組む草原再生活動を支援しています。これまでに、あか牛導入資金、野焼き再開の費用、ボランティア運営費、子どもたちの草原学習、熊本地震からの復興支援など、草原再生活動に幅広く活用されてきました。昨年度(2019年)より第4期の募金活動を進めています。本年(2020年)は、コロナ感

染症拡大の影響で、募金活動だけでなく支援活動も停滞を余儀なくされております。しかし、依然として阿蘇の草原再生を取り巻く環境は厳しいものがあり、コロナ収束後も見据えてたゆまぬ支援が必要です。「世界の阿蘇」の象徴である千年の草原を未来に引き継ぐために、今後も募金へのご理解とご協力をよろしくおねがいします。

スタート  
しました！

## ヒゴタイ基金を活用した担い手育成支援

2018年6月に個人の方より寄せられた大口の寄付金は、『ヒゴタイ基金』と名付けられ、2019年度より活用がはじまりました。今後3~10年かけて、主に担い手育成のための支援を行います。ここでは1年目の2019年度支援内容をご紹介します。



### ①繁殖あか牛放牧の推進

2019年度に導入された「繁殖あか牛」47頭に対して、これまでは1頭当たり6万円支援のところ、ヒゴタイ基金より2万円を上乗せして計8万円を助成しました。支援を受けたあか牛は今後5年間、草原に放牧され、子牛を産む母牛として飼育されます。

### ②野焼き支援ボランティア育成支援

野焼き支援ボランティアに貸与するゼッケンの製作やボランティア派遣を担う職員の育成に活用しました。



### ③将来の担い手の環境学習支援



阿蘇の子どもたちの草原学習を支援するため、草原キッズにゆーすの発行やぬりえ・絵画コンテストの開催、草原学習館での2つの小学校・阿蘇中央高校による学習発表会を開催しました。また、畜産を学ぶ生徒の教材として、繁殖あか牛2頭を阿蘇中央高校へ寄付しました。



多くのご寄付をいただきありがとうございました。

募金を活かして様々な草原再生活動を支援！



これまでに集まった募金

阿蘇草原再生募金には、2010年の設立以来、たくさんの企業・団体、個人からご支援をいただき、10年間で約1億5千万円の寄付が寄せられました。

皆さまの継続的なご支援に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

期	期間	募金件数と金額	
第1期	2010年11月～2013年3月	4,092件	70,385,083円
第2期	2013年4月～2016年3月	764件	32,591,007円
第3期	2016年4月～2019年3月	451件	40,157,663円
第4期	2019年4月～2020年3月31日	207件	6,664,683円
計		5,514件	149,798,436円



協議会構成員が集まり、年に数回、阿蘇地域の観光施設等で募金キャンペーンを実施しています！

2019年度募金収入の内訳

内訳	6,664,683円
企業団体寄付	3,759,640円
個人寄付	1,499,100円
協賛自販機	559,485円
募金箱	551,486円
募金キャンペーン	224,043円
ネット募金	70,929円

2019年度の募金キャンペーン

6月は大観峰茶店前、10月は依山交流館萌の里、11月はあそ望の郷くぎので、協議会構成員とその家族計83名が草原再生への支援を呼びかけました。その他、地域のお祭りでの呼びかけも実施！

2019年度のネット募金

2018年4月にスタートしたYahooネット募金上の「阿蘇草原再生募金」には、これまでに2,000名を超える方々よりご寄付をいただきました。

2019年度の募金箱

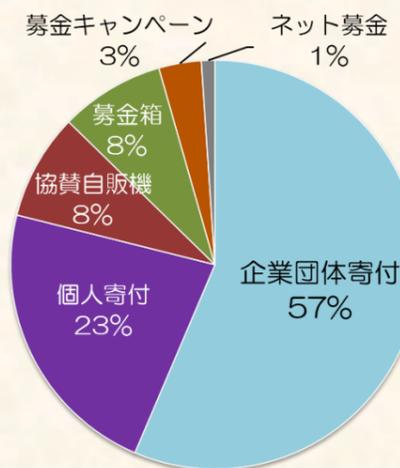
阿蘇郡市内を中心に計149の募金箱を設置しています。

2019年度の協賛自販機

阿蘇郡市内と大津町で計10台の募金協賛自販機が稼働しています。

2019年度の個人寄付

14名の個人様よりご寄付をいただきました。



2019年度の協力企業・団体 (敬称略)

イオン九州株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、熊本第一信用金庫、株式会社伊藤園、株式会社坂本九州すし市場、株式会社クオカード、有限会社肥後化学白蟻研究所、富士ゼロックス熊本端数倶楽部、八代御親会、皮ふ科前川クリニック、阿蘇労働組合、超道株式会社、熊本県立阿蘇中央高等学校

募金による活動支援の内容 (2011～2019年度)

集まった募金は、以下のように協議会構成員が取り組む幅広い活動を支援しています。また、草原に関わるシンポジウムの開催など普及・啓発活動や広報活動、募金関連の事務費や管理費に使用し、草原再生活動を支援しています。

支援項目	支援額 (円)
繁殖あか牛導入助成 (1頭当たり6～8万円を助成) ※2015年度より阿蘇世界農業遺産基金から毎年支援	35,980,000
野焼き放棄地の野焼きを再開 (ヤブになった草原の再生) ※H28年度まで実施	6,000,000
野焼き支援ボランティアの養成と派遣	28,000,000
その他：草原環境学習、放牧地再生支援、生物多様性保全、地震からの復興支援など	19,681,229
計	89,661,229

繁殖あか牛の導入助成



9年間で584頭の助成

あか牛助成には、阿蘇世界農業遺産基金よりご支援をいただいています

野焼きの再開



計132haの草原を再生

野焼き支援ボランティアの養成・派遣



約21,000名のボランティアを派遣

草原環境学習等の支援



これまで84事業を支援

熊本地震から復旧支援



7団体の牧野道復旧等を支援

～ みなさまからの継続的なご支援に支えられています ～

